

日光市

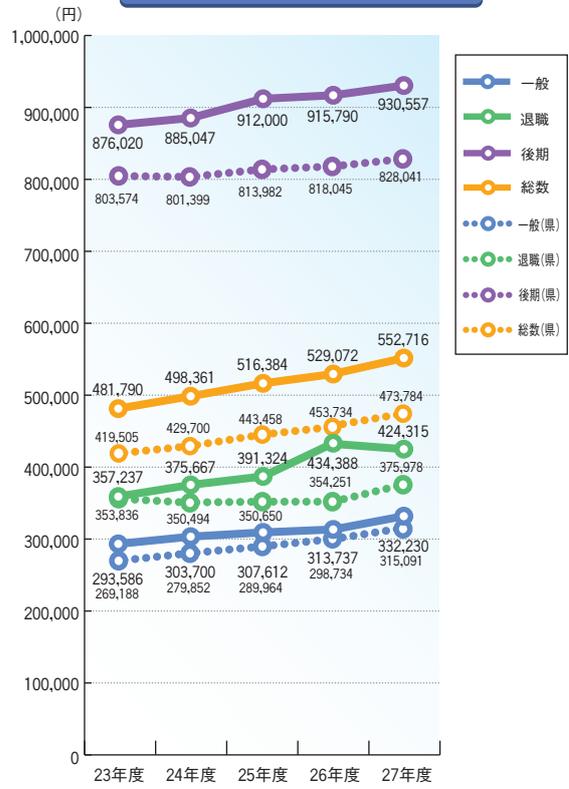
日光市



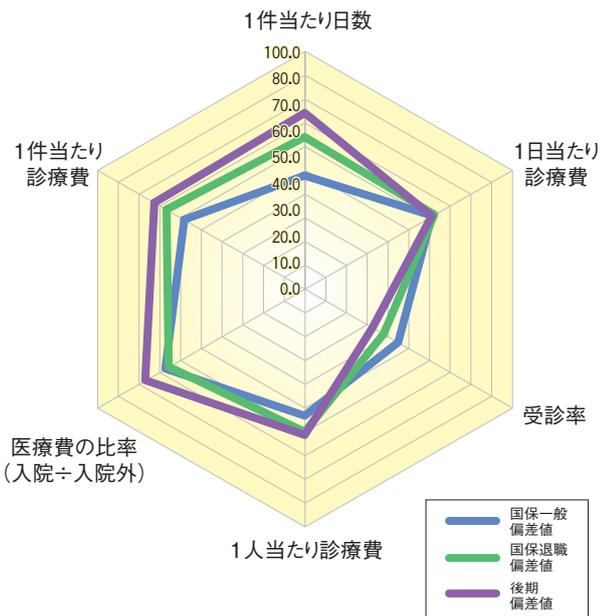
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

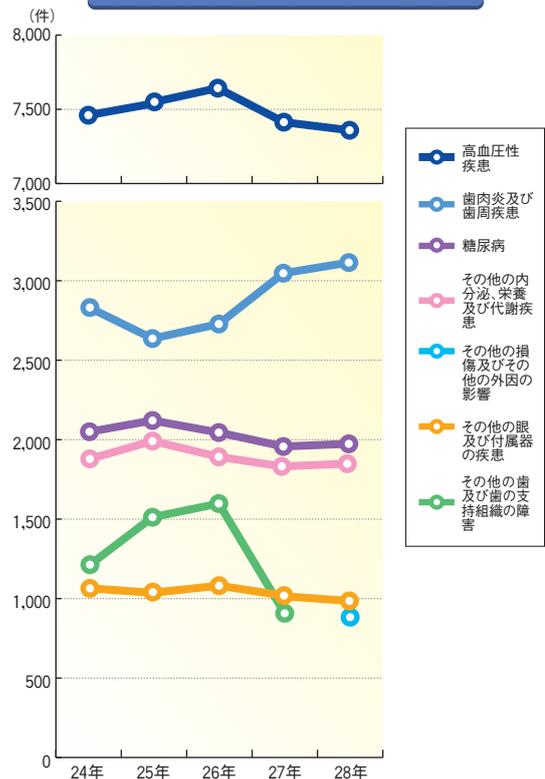


平成27年度 3要素と医療費諸費 (県平均との比較)



レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

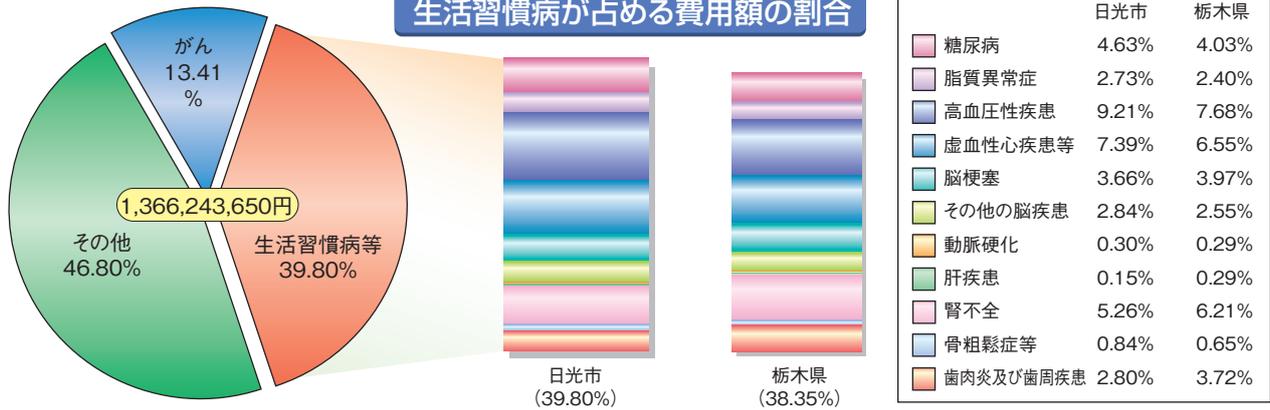
多受診疾病上位6位の推移



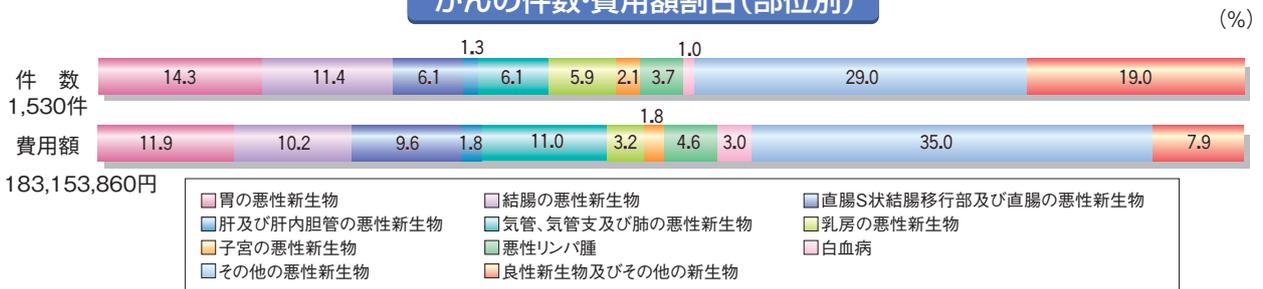
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



日光市の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成27年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般7,742,287千円(102.6%)、退職492,205千円(70.7%)、後期13,021,357千円(103.2%)で、全体では21,255,849千円(101.9%)と増加している。()は前年度との比較。

平成27年度平均被保険者数は38,457人で、内訳は一般23,304人、退職1,160人、後期13,993人である。前年度比較すると全体で97.5%と減少している。

また、平成27年度1人当たり医療費の推移をみると、総数は552,716円(23,644円増)、一般は332,230円(18,493円増)、退職は424,315円(10,074円減)、後期は930,557円(14,767円増)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、国保一般は、1件当たり日数と受診率、退職及び後期は受診率以外の項目において県の値を上回る高い偏差値となっている。

★疾病の状況

平成28年5月診療分で件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位糖尿病、4位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、5位その他の眼及び付属器の疾患、6位その他の損傷及びその他の外因の影響で、その中で、2位の歯肉炎及び歯周疾患は、近年増加傾向にあり平成25年と比べると件数で1.18倍、費用額で1.20倍となっている。

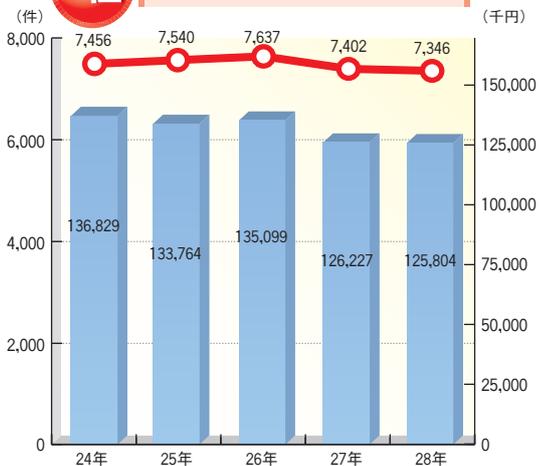
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ、5疾病全て高い構成値になっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成28年5月診療分の総費用額が1,366,243,650円で、がんが13.41%、生活習慣病関連が39.80%を占めている(県全体 がん12.31%、生活習慣病関連38.35%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患9.21%、虚血性心疾患等7.35%となっている。

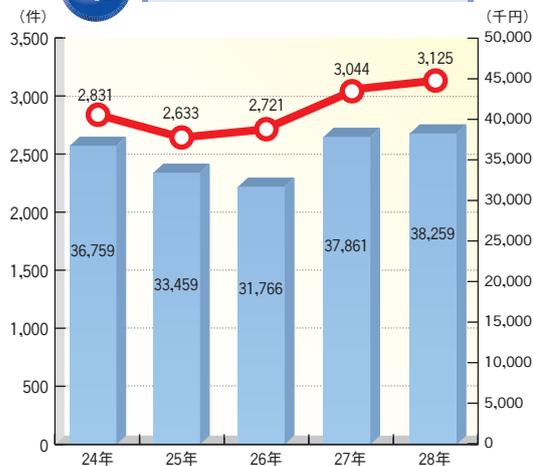
がんの部位別の件数及び費用額の割合をみると、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、結腸の悪性新生物、費用額では、気管・気管支及び肺の悪性新生物、胃の悪性新生物、結腸の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6の年次推移

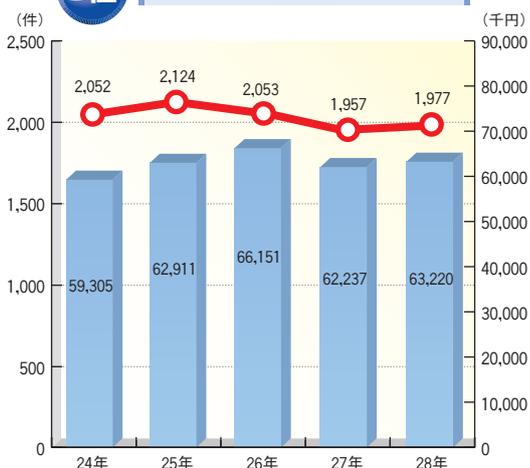
1位 高血圧性疾患



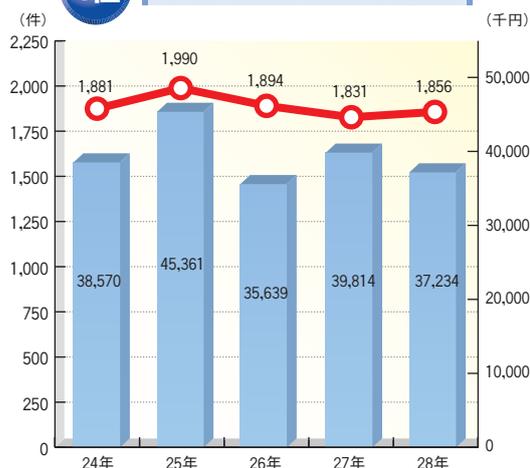
2位 歯肉炎及び歯周疾患



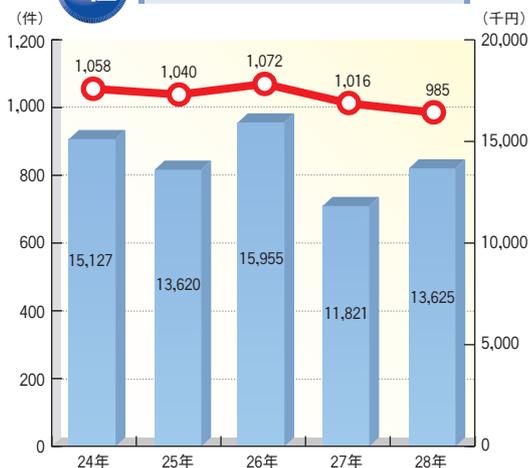
3位 糖尿病



4位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



5位 その他の眼及び付属器の疾患



6位 その他の損傷及びその他の外因の影響

